

埼玉労働山

埼玉県勤労者山岳連盟機関紙 発行:武笠真次
〒336-0011さいたま市浦和区高砂 4-1-5 ふじビル2階 編集:青木 正

第10回東日本女性 登山集会-岩手

埼玉も意欲的に参加!!

十月十一日(土)十二日(日)岩手県栗石にて全体で約百六十名が参加。埼玉は二十六名の参加です。

十一日朝バスにて出発。

一日目途中参加となつてしまつたが、石田良恵先生の実技も交えた「女性と登山環境」・事故や遭難を防ぎ、山登りを続けるための体づくり・講演会の後、女性理事長と語るの「テーマで群馬県連理事長奈良原宜子さんの会場からの質問も交えた経験交流集会有りました。夜の交流会では他県の参加者も巻き込み秩父音頭で楽しみました。

二日目は交流登山で、早池峰山のし尿下ろしの貴重な体験をしてきました。十六年間続けている岩手県連中心のボランティアの方々に感謝の気持ちでいっぱいです。埼玉では他に岩手山に登ったメンバーもいます。帰りは東和温泉で汗をながし、夕食後ゆっくりくつろぎ十三日早朝帰宅しました。岩手県連の五十名の方がサポートや送迎をして下さつて大変お世話になりました。ありがとうございました。女性委員長 長谷川 貞子

第十回東日本女性登山交流集會に参加して

山遊会ビスターリ

鍋谷ミワ

1日目

早池峰山に反応した私、初夏は花でいっぱいでしょうが、今は紅葉かなと思いつつの参加。ふじみ野駅西口広場からバスで岩手県南部富士見ハイツに向かい講演会「女性と登山環境」について、講師 石田良恵先生の講演を聴くはずだったがバスが遅れて残念少しかけ参加。引き続き、経験交流集會「今燃えている女性に学ぶ」と言う議題で、群馬県連理事長 奈良原宣子さんのお話を聞く。夕食・交流会では、余興のトップバッターは埼玉県連バスの中で練習した、姉さんかぶりで秩父音頭を踊り、会場の人たちも巻き込み大変盛り上がりしました。2日目 早池峰山コースは「し尿下ろし体験登山」 山々は紅葉も終わり間際だが、朝6時バスで早池峰河原の頂きで、し尿入れ容器を受け取り小田越登山口を二パーターでスタートする風が強く難儀する。山頂には地元のボラン

ティアの人達が準備、待機していて早速作業開始。

私はトイレの裏に回つて見たが、柄杓で汲みザルで漉し、持ってきた容器に入れ蓋を閉め、中、外もし

つかりビニール袋で覆った物をザックに入れ運ぶのだが数人の方の参加が有りましたが、私は出来なかった。簡易トイレを買い体験しましたが自分の物でも、持つて帰るのには少し抵抗感がありました。 ボランティアの方のお話ではスタートした当時はトイレに色んな物が落ちていたりトイレットペーパーも落とすと水を含み重くなり、夏場は特に匂いが強くなるので分別に皆さんの協力が必要との事でした。 下山後、河原坊トイレに山頂から下ろしてきた物を入れ綺麗にして終了しましたが、今まで私達は考えもせず、頂上にトイレが有つて良かったと思つていたが、色々考えさせられる事が沢山ありました。 いつまでもボランティアに頼つていて良いのか等、大変な思いをしてやってくれる人が居た事に感謝です。 今回の主管、岩手県連のおもてなしも素晴らしいかつ

たし、他会の皆様方との交流もでき良い経験でした。有難う御座いました。

交流集會&交流登山に参加して

桝歩富士見山の会

小田切とよ子

第十回東日本女性登山交流集會「こいわて」に参加させていただきました。

一日目は石田良恵先生の講演と夜は全員参加の交流集會、そして二日目交流登山で桝歩歩はし尿処理体験・見学コースに参加しました。

青空の下早池峰山登山口に集まり、し尿の処理の仕方やおろしからの処理方法等、岩手県連の方の説明を聞き、し尿を入れるボトルを各々ザックに入れて登山開始です。

今日は風が強くしつかり踏ん張って歩かないと飛ばされそうです。山頂で冷たい風をよけて急いで昼食をすませた後作業開始の知らせがあり、し尿のくみ取りを見せてもらいました。そしてくみ取りの体験もしました。し尿を長い柄の柄杓で汲みとり大きなざるでろ過して下のタンクに落ちるようになってこの装

置、始めてから十六年目になるそうでこの究極のシステムに至つたらしいです。そしてし尿を黒のビニール袋に入れてボトルに入れその上から又ビニール袋に入れてザックに入れておろします。私も五リットル用のボトルを背負いました。下ろしたし尿を河原坊の公衆トイレに入れて量を記録していました。今年は今回が四回目だそうです。決してきれいな仕事ではないのに心なしか皆さん楽しくやっているのです。わずかなお手伝いでしたが私も楽しく出来ました。

早池峰山を美しく未来に残すために取り組んでいる岩手の山岳会の皆さんに本当に頭が下がりました。私たちもここまで出来ないにしても山を汚さないよう後世に残せるよう一人一人が気をつけなくては切に思いました。

今回この交流集會への参加者の多さに(164人)びっくりしたこと、皆さんのパワーに圧倒されました。元気をたくさん頂いて帰ってきました。

一面に続く

初参加の『第十回東日本女性登山交流会』

富士見市峠山の会

高草木鉄子

十月十一日、バスは大宮、所沢、ふじみ野(六時)で総勢二十一人を乗せ、東北自動車道をひたすら北上しました。自己紹介や歌で気持ちも和み、十四時四十分

岩手県栗石町驚宿温泉「南部富士ハイツ」に到着。すでに始まっていた講演会に参加、一時間ほど話を聞くことが出来ました。

＊後援会「女性と登山環境」

石田良恵先生

(日本女子美大名誉教授)筋肉は、寝たきりで2日で、加齢では一年で約1%減少するそうです。反対に、トレーニングを重ね筋肉を1kg増やすと、脂肪が四ヶ月で1kg減少するとか、

毎日のトレーニングが大事であることが分かりました。実際に体を動かしながら筋肉の鍛え方を学びました。「Never too late(遅すぎるということはない)」に励まされながら。

＊経験交流「女性理事長と語ろう」

群馬県連理事長さんの「女性だからできる運営」「家庭の協力体制」「夜の会議

の問題」「男性役員との人間関係の取り方」などの経験を聞き、会場からもたくさんの悩みや質問が出されました。主婦も母も妻も仕事もと、何役もこなしている私たち。日頃感じていることなのに話し合ったことがない分野だったのとでも参考になりました。

＊食事と交流会

大きな名前のプレート胸に、いろんな県の方と友達になりました。埼玉県は主催者の岩手県に次ぐ26名の参加です。秩父音頭がうけて会場みんなが踊りの輪に加わり、大きな渦が出来ました。岩手本場のさんさ踊り、あまりの美しさ息をのむ場面も…。女性のパワーに圧倒されっぱなし芸も口も、そして身体も元気、元気！

ヒマラヤ経験者から高尾山登山の私まで、広くて厚い層。東日本(大阪からの参加者もあり)の女性たち、こんな大規模なイベントがあることを私(入会四年目)は見逃しておりました。大きなつながりに支えられて身近な山行が守られているのです。

どの会も女性会員が多いはず、もっともっと女性が運

営に参加して、自立した山行を目指さなければと感じました。

二日目、私たち三人は、県連とは離れ、岩手山登山に参加しました。「女性の自立」「自立した女性」と励ましあいながら八時間弱で往復し、三日目、秋田駒ヶ岳の雄大な景色を楽しんで帰ってきました。

「おもてなしの心」で御世話してくださった岩手県連の皆様感謝します。



第十三期「登山学校」

浦和山の会 米屋正亮

会社を離れて五年近くになります。友達の誘いで今年の六月に「浦和山の会」に入会、そして十三期生として登山学校に入学させて頂きました。

これまで、好きで幾らか山登りをしていましたが、どちらかと言うと、お任せ

登山でした。同行者がいれば、同行者任せ、単独の時は、人の後に付いて行く、極めて無責任で自主性の無い登山でした。そんな訳で歳も歳なので、これからは、安全を考えると山登りは控えた方が良く思っていた矢先でしたので、友達の誘いはとても良いタイミングでした。

登山学校は机上講習があり、山登りは本や資料で勉強しても絶対駄目、体に入覚え込ませねば成らぬと思っていましたので、次の日が前日の講習内容を踏まえ、班別に成り実技指導をしていただける点が、とっても良いシステムだと思います。どの講義内容も山登りを実践されて来た先生方のノウハウが何年も練り込まれた内容と思えるので、大変良い勉強になります。

その他、技術面だけではなく、班別行動で登山のルールやマナーそしてチームワーク作り等、お互いに汗を掻きながら学ばせて貰っています。何よりも私がこの登山学校の良いと思うところは、先生方の山に対する情熱とこの学校に対する熱い取り組み姿勢にあると思っています。

実技指導の後で先生方が良くこの登山学校のあり方に付いて熱く話されているのを聞きます。根底は山登りで絶対死んでは駄目、その為に登山学校をどうするかにあるようです。この様な先生方の情熱のある素晴らしい登山学校は他に無いと思います。

登山学校を通じ良い先生、良い仲間巡りに会えた事、そして皆様のお陰で自力でも山を楽しむ事が出来そうにさせて頂いた事に感謝しています。

これからの講義も勉強する所が沢山有ると思いますので、宜しくお願い致します

十月五日(日)登山の感想

山遊会ビスターリ寺澤うめ 今日の実技学習は、「観天望気 空を見上げて雲を観察する」です。

午前七時、柳瀬川駅前から登山学校チャーターのバスに乗りました。さっそく前日の机上講習の復習です。バスの窓から空を見上げて、いろいろな形の雲を観察です。すじ雲、うろこ雲、ひつじ雲が見えます。「あれがかさ雲です」講師の高橋さんの声に、皆がいつせいに斜め上を見上げま

した。太陽のまわりに丸い輪が出来て、まるで傘を被っているようです。

メモを取っている間に、空一面厚い雲に覆われて、観察が出来なくなりました。雲の動きが、とても速いです。予報では「夜間より雨」だったのに、早めの雲の広がりに少し残念な気持ちになりました。一時間半程で、登山口近くの駐車場に着きました。三班に分かれ、コンパスで行く方向を確認し、出発です。道が二又三又に分かれている所や、標識のある分岐点でコンパスを出し、確認。全員同じ方向に針が指しているのが、とても嬉しく、とても楽しいです。

目指す「浅間隠山」は頂上が雲に隠れて見えませんが、雲のおかげで暑くなく頂上に着きました。

腰をおろして昼食中、雲が目の前を通って行くのがよく見え、思わず手を伸ばしていました。明るいグレイのフワツとしたのが風に押されて、サツと通り過ぎていきます。

雲の観察の日に、確かにしっかりと雲を見ることができて、とてもうれしく思いました。感謝です。

理事会報告

十月二十九日(水)浦和県連事務所にて第八回理事会が十五名出席で行われました。委員会等活動経過報告・計画予定

全国連盟活動

十月四～五日遭難対策担当者会議(徳重・武笠 出席)十一月九日第二十八期臨時評議会・全国連盟事務所理事長出席予定。

事務局

安全登山講演会申込状況確認。カレンダー申込み状況十一月一日現在

注文218部 残数12部
三役会議 十一月六日(木)さいたま市市民活動サポートセンター九階

【財政】後期末納：六団体 期限十月末。
未納の会は早急に。

【ホームページ】担当予定者に交渉中。

女性

十月十一・十二日 東日本女性登山交流集会(岩手県)参加者百六十四名、サポート隊五十名。埼玉より二十六名参加。

参加感想：早池峰山のし尿処理体験は、良い経験になった。早く、ボランティアだけでなく行政を含めた取り組みになれば良いと願っている。

自然保護

関東ブロック自然保護交流集会 十月十八～十九日(両日併せて四名出席)

一日目：全国連盟事務所にて講演、窒素酸化物測定結果報告
二日目：高尾山(カプセル回収)

十一月十五・十六日 全国自然保護集会(杉江・湯見 武笠・牧添・出席予定)

海外

十一月十五・十六日 全国海外登山集会(大阪)・・・不参加。

【救助隊】十月十一・十二日 関東ブロック合同搬出訓練 白毛門 東黒沢 埼玉県連のみ 十名参加

十一月九日 搬出訓練 女ヶ岩 十一月十日 役員会

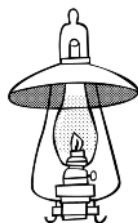
【登山学校】十月十四日 天気の見方(机上) 十五名

五日 天気の見方(実技) 浅間隠山 十三名

十一月一日 山での救急法(机上) 二日 山での救急法(実技) 鹿沼岩山

十二月一日 委員会

【岩ネット】十一月は中止



ブロック会議

西部：会議：十一月六日 交流ハイイク・冬山ハイイクについて

南部：会議：十月二十三日、十一月二十日 中部：十一月九日 地図読み山行 雷電山 北部：心拍実験登山について・秩父地域に咲く花の写真集について

議題

安全登山講演会

実施日 十一月十五日(土) 受付十三時三〇分

開演十四時～十五時三〇分(質疑応答含め十六時終了) 会場浦和コミセン

(浦和駅東口パルコ十階) 定員九十名

講師 大野秀樹氏(杏林大学医学部衛生学教室主任教授(現・衛生学公衆衛生学教室主任教授))

テーマ「登山と健康」 当日、講師の著書『百寿者になろう』の割引販売あり。講演後、懇親会奮って参加。

遭難防止・安全教育担当者会議

実施日 十一月十五日(土) 受付九時三〇分 開会十時 会場 浦和コミセン (浦和駅東口パルコ十階)

訂正のお願い

40周年記念誌の会紹介のP31、「日和田アルパインクラブ」下段から6行目『無知』→『無意味』の誤りがありました。心からお詫びし、訂正させていただきます。

40周年記念誌編集委員会

定員二十二名

議題 ヒヤリハット(継続審議)

前回提出されたヒヤリハット事例を審議。他岩場での確保失敗報告等。

第二回評議会について

実施日 平成二十一年一月二十五日(日)午後一時～会場(未定)「ふれあいプラザいわつき」仮予約議題：次回の理事会で検討

その他

・次期登山学校 来期も継続実施を理事会確認。心拍実験登山 参加予定者：三十八名 残り六名(のんびり班十三名・標準班九名・健脚班 十六名) 佐藤理事(記)



救助隊便り

十月十一日(土)、十二日(日)谷川・湯檜曾川東黒沢にて関東圏 救助隊合同訓練が行われました。

参加団体：埼玉県連救助隊は大宮労山四名、熊谷トレッキング同人二名、新座山の会一名、わらび山の会一名、桝歩富士見山の会一名、三郷山の会一名 計十名でした。

千葉県連、東京都連、神奈川県連は不参加で埼玉県連独自の救助隊訓練でした。ヘリコプターでの救助に対応した救助作業の搬出技術習得に主眼をおく訓練とする当初の目的は千葉県連が不参加だったことから達成できず残念でした。

訓練内容としては十月十一日(土)は個人装備でのセルフレスキューでハナゲの滝上部でハーケン、立木を使

った支点工作

確保器を使つての懸垂下降、タイプロック使用しての上り返し

負傷者(片腕負傷者を想定)を介護し懸垂下降、上り返しを数回繰り返す。

十月十二日(日)は救助隊装備を使用して組織レスキューでのハナゲの滝上部でハーケン、立木を使つた支点工作

・負傷者(片足負傷者を想定)を介護し口ワ・ダウンにて下降、負傷者を安全な場所に確保する

・二種類のストッパを使用し道具の使い方を習得

・チロリアンブリッジにて負傷者の救護訓練
今回の訓練は神奈川県連より移管されて埼玉県連が主管となつてでしたが埼玉独自の訓練になったのはつくづく残念でした。(担当理事 尾手記)



今後の計画予定

11月

15日(土)～16日(日)

全国登山者自然保護集会(神奈川県泰野市)

第20回全国海外登山集会(大阪府)

16日(土-午前)

遭難対策・安全教育担当者会議(浦和コミセン)

15日(土-午後)安全登山後援会(浦和コミセン)

16日(日)

西部ブロック交流ハイキング(丸山-横瀬)

第337回市響 合唱の集い(混声合唱)

「山に祈る」[朗読-山根基世]午後1時30分入場 2時開演

市川市文化会館大ホール(JR本八幡駅より徒歩10分)入場無料

26日(水)第9回埼玉県連理事会

29日(土)ハイキング委員会、心拍実験登山-熊倉山

(国立鹿屋体育大学教授山本正嘉氏)

12月

6日(土)～7日(日)登山学校 総合学習登山

8日(月)救助隊 雪上搬出技術学習会

17日(水)第10回埼玉県連理事会

♪ みんなの歌 ♪

山登りの歌(替え歌の多いグレゴリオ賛歌の山の歌版です。)

作曲者 アメリカ民謡 歌詞 龍田和夫 作詞

(1) 山越え谷越え いざ登れ み空は青いよ 陽は高い 行手は遠いが 弱るまい 進め 登れ

高らかに歌おう 山の誉め歌を 朗らかに歌おう 山の歌を

(2) 山越え谷越え いざ登れ 白樺落葉松 釣鐘草

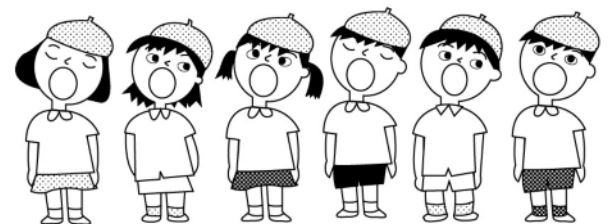
小鳥の歌は こだまする 進め 登れ

高らかに歌おう 山の誉め歌を 朗らかに歌おう 山の歌を

(3) 山越え谷越え いざ登れ 嵐が来ようと 何のその

恐れはすまいぞ いざ登れ 進め 登れ

高らかに歌おう 山の誉め歌を 朗らかに歌おう 山の歌を



県連からのお願い

秋も深まりこれから山陽の陽だまりハイキングに行く機会も増えることと思います。さて例年実施されているクリーンハイキングに向けて、是非埼玉県内の山のゴミ調査にも取り組んでいただき、情報を自然保護委員会へ頂ければと思います。よろしくお願いします。

編集後記

先日、「まぼろしの邪馬台国」の映画を観に行ってみました。島原の風景と吉永小百合さんの美しさに酔い知れました。是非お勧めします。紅葉前線も真つ盛り安全登山で楽しみましょう。十二月は八日印刷の予定です。十一月末日原稿締め切り。ご協力よろしくお願いします。(アオ)

第16回関東ブロック「雪崩事故を防ぐための講習会」

雪崩を知ることによって事故のリスクを減らす、実践的学習です。

2009年1月31日(土)12時～2月1日(日)14時

場 所 入笠山及び「マナスル山荘」周辺

入笠山での実技講習参加者は、机上講習の受講が必修条件ですので必ず受講の事。

机上 東京地区

10日(水)19:00～平日2時間 全国連盟事務所 講師-川嶋 高志

14日(日)13:00～半日4時間

17日(水)19:00～平日2時間

この机上講習は、雪崩発生メカニズムや危険判断の方法、危険を考慮した行動選択、それらに必要な雪質についての知識そして初動捜索の方法などを知っていただける内容です。雪崩について初めて学ぶ方を対象にしますが、リピーターも歓迎です、何回でも受講してください。1月の実技講習会(入笠山)参加の方は必修です(平日2回もしくは半日コースを選択してください)。

各有料です。詳しくは会または県連事務局まで。